

経営比較分析表（令和元年度決算）

宮城県 高橋町

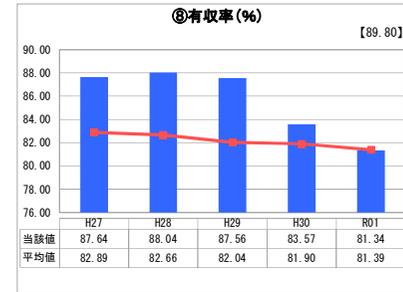
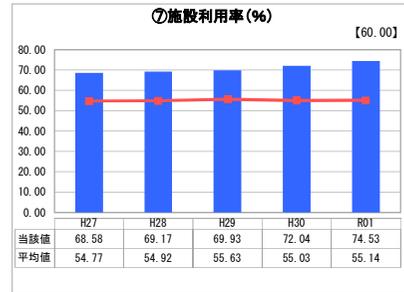
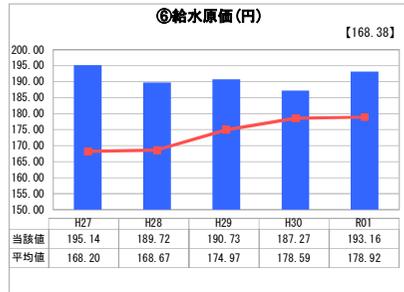
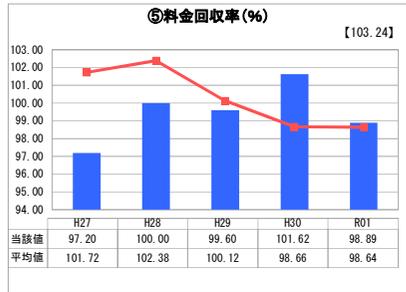
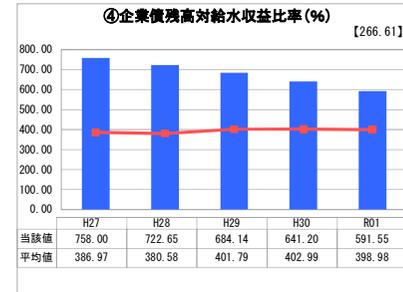
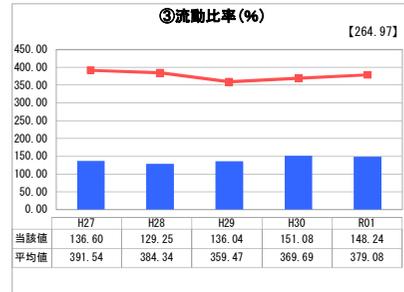
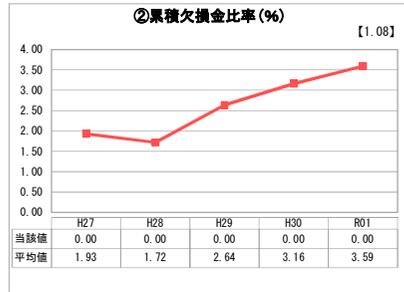
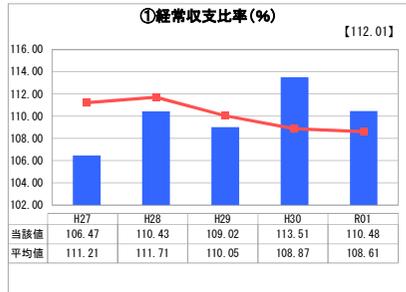
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	49.03	89.26	3,311	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,283	43.80	463.08
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,047	10.28	1,755.54

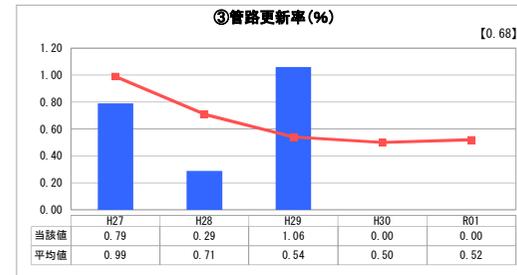
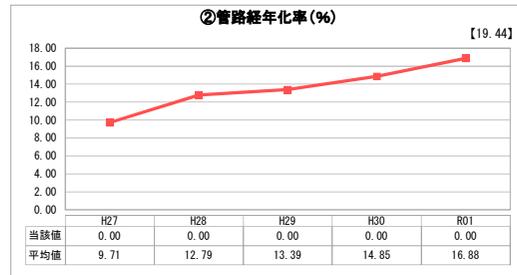
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
平成30年度と比較すると減少しているが、令和元年度の経常収支比率は100%を超えており、健全な水準にある。
- ② 累積欠損金比率
欠損金がないため、健全な状態にある。
- ③ 流動比率
100%を超えており、健全な水準にある。流動資産・流動負債ともに、大きな変動は予想されないため、今後、大きく増減することなく推移するものと推察される。
- ④ 企業債残高対給水収益比率
高い水準ではあるが、年々減少傾向にあり、今後も減少していくものと推察される。
- ⑤ 料金回収率
100%を下回っているが、平均値並であり、健全な水準にある。今後は100%前後で推移していくと推察される。
- ⑥ 給水原価
類似団体と比較して高い水準にあり、今後は有収率等をきめ、改善していく必要がある。
- ⑦ 施設利用率
類似団体と比較して高い水準で、適切且つ効率良く水道施設を利用してきており、良い状態を維持できている。
- ⑧ 有収率
類似団体と同水準程度にあるが、前年度、前々年度と比較して減少してきている。今後、漏水調査等を計画的に実施し、効率の良い運営をしていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
平均値より高い水準であり、今後も増加していくと推察される。定期的な施設の更新が必要となる。
- ② 管路経年化率
当該値0%のため、適正に管路更新が実施できている。
- ③ 管路更新率
令和元年度決算数値は(0.92)が正となる。平均値と比較して高い水準にあり、計画的な管路更新が行われている。

全体総括

計画的に管路の更新を実施しているため、企業債残高対給水収益比率は高いが、概ね健全な経営状況にある。しかし、有収率が年々低下しているため、給水原価等を含め、経営状況に影響している。大規模な漏水調査を実施しており、経営を見直した上で、今後の健全かつ効率的な経営を継続しながら、管路や施設等の整備を実施していく。